

牧 師 所 感 ： 廃棄物となっていた電子辞書

— 40 年振りに 蘇 る —

人生 90 才以上 年を取ると、自己自身は勿論のこと、周囲の皆があゝの世に近い存在として、ぞんざいに扱う。言ってみれば 90 以上も生きたんだから、ぞんざいにされるのが当然かも知れない。生きていても 家族に迷惑を掛けるのが落ちだが、他人様からすれば 優に及ばない存在であろう。

さて最近、体の 調子に 異変が起きて、急遽 千葉県 四街道 徳洲会病院に 入院する 羽目になった。

ところで 韓国 大邱 在住の知り合いのお医者様に、体の具合が悪くて（脳梗塞）、緊急入院しました、とメールで伝えたところ、「九十歳の同年齢の人は 95%が死去、只 5%が生存していますよ」とあっけなく 応じられた。少し 淋しい思いはしたけれど、お医者様としては、当然の事を 知らせてくれた と思い 納得した。

さて二、三週間前の 牧師所感にも書いたが、死に備えて、身の回りを整理することで、忙しい。整理の途中、机の中から 寿命が尽きた 手垢の付いた電子辞書が出て来た。4、50 年間 愛用していた電子辞書だ。出て来たついでに、バッテリーを取り替えて、スイッチを入れた途端「中の資料が完全に無くなりました」と知らせてくれた。ゴミ箱に入れようとして、バッテリーを取り出すつもりで、もう一度 スイッチを押して 取り出そうとした時、我が目を疑った。電子辞書は生きていた。画面は 真新しい新品のように修復されていた。奇蹟が起きた と思った。神様に 感謝した。

この辞書は韓国製品で、中国より造られている。워드콤 바이블 (ward com BIBLE)
JUNGPOONG PRODUCTS CO,LTD S/N 09405776

筆者はこの辞書の修復により、大いなる 生に対する 勇気をいただいた。主なる 神様が 生かしてくれる迄、使命に 忠実に 生きようと、心を 改めた。ハレルヤ！！